

若ノ嶋 綱の意地

紙相撲新聞

第164回本場所
中日～七日目

編集・発行
日本紙相撲協会

全勝の苦手鬼ヶ嶽に意地の白星

平幕の越境山（勝間田部屋）が単独全勝

【第百六十四回本場所中日～七日目】

晴天に恵まれた2月23日に中日と七日目が行われ、前頭十四枚目の越境山が7戦全勝で優勝争いの単独トップに立った。これを1敗で、大関西神門と関脇鬼ヶ嶽の2人が追う展開となった。

五日目までに1勝4敗となった横綱千代鈴は中日から休場。千代鈴の休場は初土俵以来初めてのことで、師匠の春日根親方によると「初土俵以来、稽古を休むことなく走り続けてきただけに

ここで十分な休養を取らせて鋭気を養わせたい」とのこと。

7戦全勝で優勝争いの単独トップに立った入幕3場所目の越境山。新入幕で7勝、先場所は5勝という成績だったが、今場所はこうしたことか？「稽古場でも、これまでとさほど変わったところはなかったが」と語る勝間田親方。

何か目に見えない風が吹いている今の場所の活躍。八日目以降は三役以上のあり、まだ対戦した可能性のない相手との相撲で真価が問われることになりそう。



↑七日目、ここまで全勝の鬼ヶ嶽と対峙した若ノ嶋。これまで8勝12敗と分の悪い相手だが、横綱の意地、独走許すまじと気迫の寄りで鬼ヶ嶽に相撲を取らせず完勝した。

↓今場所の台風の目、入幕3場所目の越境山は小兵の利を生かして想定外の7連勝。後半戦、上位陣との対戦が興味深い。



「横綱として全勝を止めたか、若ノ嶋が左めるぞ」との気合いが勝った。この勢いで七日目の逆、1勝2敗と分はいい横綱若ノ嶋戦。若ノ嶋にとつては過激な何度目も苦杯を舐めて顔を見るの嫌な相手。

中日は白閃光を危なげない鉄甲を危し切った。残り4日とした。残り4日鬼ヶ嶽との対戦が予想されるが、重ていけるか？初日から5連勝と好調の関脇鬼ヶ嶽と、横綱千代鈴の休場で、鬼ヶ嶽の成績は3勝14敗と分の悪い相手。

今場所優勝すれば横綱時代到来か、と大注目の大関西神門。兄弟子の横綱千代鈴の休場で「横綱の分も」とさらに気合いが入っている。

鉄 甲●（寄り切り）○西神門

白閃光●（寄り切り）○西神門

全勝 越境山
一敗 西神門、鬼ヶ嶽
二敗 若ノ嶋、西勢里、勝ノ川
宇治家



春ノ翔○（寄り切り）●若 佑



英 筏○（引き落し）●大神楽



大神楽○（寄り切り）●夢ノ花



鬼ヶ嶽○（引き落し）●春ノ翔

を差してからの寄り勝ち、鬼ヶ嶽は今場所の初黒星を喫した。
五日目を終えて3勝2敗と苦しい星だった横綱若ノ嶋は中日に久しぶりの英筏と対戦。「過去、若ノ嶋には6敗と勝ったことがないけど、なんか勝ちそうな気がする」となぜか若ノ嶋には自信がある鹿賀乃戸親方。
しかし、ここは実力の差を見せつけて若ノ嶋が横綱相撲で勝利。七日目に苦手の鬼ヶ嶽にも勝って5勝2敗とした。若ノ嶋としては早く勝ち越して、気持ちを楽にして終盤戦に向かいたいところだ。
初日からともに3連勝と好スタートを切った横綱春ノ翔と横綱大神楽だったが、四日目から揃って連敗。中日に大神楽は取り直しの末に小結夢ノ花に勝ったが、春ノ翔は鬼ヶ嶽に敗れた。



若ノ嶋○（寄り切り）●英 筏